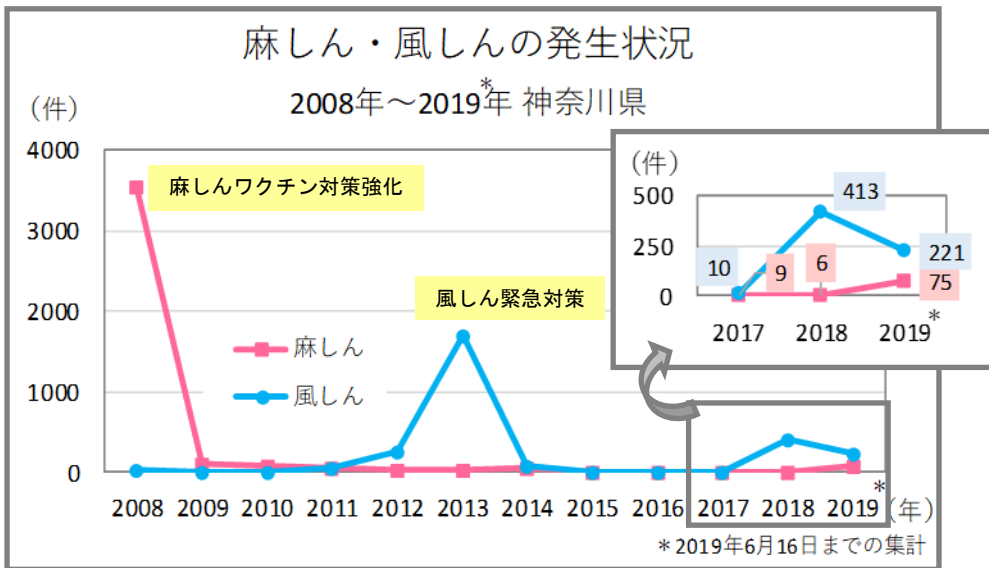


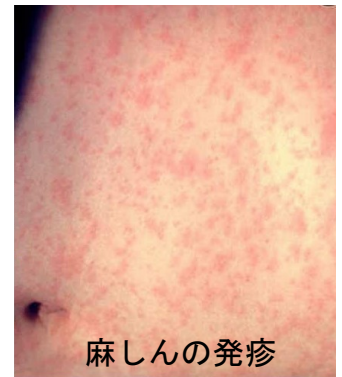
今年「麻しん」「風しん」に注意！ ワクチン接種で感染を防ごう

「麻しん」「風しん」は発熱と発疹が現れる病気で、感染力が非常に強いのが特徴です。特に、妊娠初期の女性が風しんにかかると、赤ちゃんに心臓病・難聴・白内障などの症状が出る「先天性風しん症候群」を起こす恐れがあります。予防にはワクチン接種が最も有効です。

県内の麻しん・風しん報告数が多くなっています



2014年以降、県内の麻しん・風しんの報告は10件前後でした。2018年より風しんの報告が急増し、2019年は麻しんの報告も多くなっています。



Skin of a patient after three days with measles rash
Source: CDC/PHIL

麻しん		風しん
発熱、咳、鼻水など風邪症状の後、2～3日して39度以上の高熱、発疹が出現 肺炎、中耳炎や、1000人に1人の割合で脳症を発症します。	症状	発熱、発疹、首周辺のリンパ節腫脹 妊娠初期に妊婦が感染すると、出生児が「先天性風しん症候群」を発症する可能性があります。
空気感染、飛沫感染、接触感染	感染経路	飛沫感染、接触感染
10～12日(最長3週間)	潜伏期間	2～3週間
解熱後3日を経過するまで出席停止。	登校の目安	発疹が消失するまで出席停止。

麻しん・風しんにはワクチン接種が最も有効です

- ◎小児はMRワクチン(麻しん風しん混合ワクチン)定期接種を受けましょう。
(1回目:1歳、2回目:小学校就学前の1年間)
- ◎成人は麻しん・風しんの罹患歴、予防接種歴を確認し、十分な免疫がない場合にはワクチン接種を勧めます。
ただし、妊娠中や2ヵ月以内に妊娠希望の女性は接種できません。
- ◎風しんの抗体検査、ワクチン接種の費用助成制度があります。
詳しくは「神奈川県風しん撲滅特設サイト」をご覧ください。

神奈川県衛生研究所
企画情報部 衛生情報課
電話:0467-83-4400
FAX:0467-83-4457
<http://www.eiken.pref.kanagawa.jp>